

第六回

延年之會

狂言

八幡の前

狂言

清水座頭

狂言

石神

平成30年8月26日(日)

開演時間 ● 午後2時

会場 ● 国立能楽堂



小笠原 匡

能楽師狂言方と泉流 公益社団法人・能楽協会会員
日本能楽会会員 重要無形文化財総合指定保持者

1965年生まれ。

初世 野村 萬(人間国宝)、故8世 野村 万蔵、9世 野村 万蔵に師事。狂言の大作『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』『金岡』『花子』を抜く。2006年より毎年千葉県興の神話民話風習を創作狂言に創作・演出。NHK大河ドラマ『義経』、金曜時代劇『出雲の阿国』芸能指導、朝の連続ドラマ小説『カーネーション』・『ごちそうさん』所作指導。桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクト「中近世の日本とイタリアにおける仮面喜劇の生成発展と現代的実践について」にてヴェネツィア大学で狂言とイタリア伝統仮面劇コンメディア・デッラルテのシンポジウム、ワークショップ、公演を行う。パリ日本文化会館にて年3回「伝統の継承」を企画プロデュース。現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学客員教授。



小笠原 弘晃

2001年生まれ。

初世 野村 萬(人間国宝)、9世 野村 万蔵及び父に師事。3歳で初舞台『靉狼(大名・野村萬)』を踏む。『昆布売』『盆山』『口真似』『柿山伏』『呼声』他でシテ(主役)を勤める。2017年5月、パリ日本文化会館20周年記念特別狂言公演にて『二人袴』シテを二日間勤める。2017年5月、ハンガリー・ブタペストにおいて初の狂言公演にて『盆山』シテを勤める。2017年7月、野村万蔵家襲名披露公演にて『千歳』を抜く。2017年8月、延年之會にて『奈須与市語』を抜く。阪本順治監督作品・吉永小百合主演東映創立60周年記念映画『北のカナリアたち』出演、同監督作品2016年6月公開、藤山直美主演キノフィルムズ映画『団地』出演。現在パリ留学中。

石神

狂言 いしがみ

清水座頭

狂言 きよみずざとう

八幡の前

狂言 やわたのまえ

延年之會

えんねんのかい

夫 有徳人
妻 笛 小鼓

小笠原 匡
野村 萬
能村 晶人
梶宅 聡
飯富 孔明

座頭 警女

小笠原 匡
野村 万蔵

智 男 教え手
太郎冠者

小笠原弘晃
能村 晶人
野村 万蔵
野村万之丞

平成30年8月26日(日) 午後2時開演

会場 ● 国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331(代表)

料金 ●

S席 7,000円 A席 5,000円 B席 3,000円

学生席 1,500円 ※未就学児は入場不可。

『直会』～演者と楽しむ懇親会～

日時：平成30年8月26日(日) 16:00～18:00

会場：向日美(国立能楽堂内)

会費：5,000円(ビュッフェ立食スタイル)



- JR「千駄ヶ谷駅」徒歩5分
- 地下鉄大江戸線「国立競技場駅」A4出口 徒歩5分
- 地下鉄副都心線「北参道駅」1番出口 徒歩7分

チケット取り扱い ●

アトリエ オガ. Tel&Fax 06-6942-1577
atelieroga.yoyaku@gmail.com

萬狂言 <http://yorozukyogen.jp>

eプラス <http://eplus.jp> (パソコン・携帯)

セクターエイティエイティ Tel: 06-6353-8988(平日10:00～18:00)

KENSYOインターネット・チケットサービス

IPCI <http://www.nohkyogen.jp/> 【モバイル】 <http://www.nohkyogen.jp/mobile/>

主催・制作・お問い合わせ ●

アトリエ オガ. (www.atelieroga.com)

Tel&Fax: 06-6942-1577 / Eメール: atelieroga.yoyaku@gmail.com

協力 ●株式会社萬狂言/株式会社藤原プロデュース

一人の警女(こぜ)が身の行く末を祈願するための清水の観世音に参籠している。そこへ一人の座頭が妻をいふため清水へ訪れ、警女に突き当たる。二人とも相手の不注意を罵り合うが、互いに盲目とわかって仲直りし、酒を酌み交わし琵琶と小歌に興ずる。夜もふけ飯後をする、二人は露夢をこもり、それぞれの夢のお告げどおりの場所に向かうが、和泉流のみに伝わる曲で、盲人を暖かい目で見て、仏への感謝や男女の邂逅(かいこう)巡り合(めぐりあ)いを美しく描く、抒情的なベネッセの瀟々(せうせう)名作。

家を顧みないで妻に愛想をつかされた家を追ひ出された夫は、仲人に仲裁を頼みに行き、そこへ妻も別れの挨拶にやってくる。夫は奥に隠れていると、仲人は妻は洛北の出雲路へ行くところだ(良縁なとに雲隠がある)とされた石のど神体のお告げを聞くようにする。夫は後を追わせる。夫は石神に成りすまして妻を思い留まらせるが、妻が石神さまへ御礼の神楽を舞い出すと...

妻の舞う神楽は「三番叟」の鈴ノ段と同じで、その神楽に夫が引き込まれていく過程が見どころ。お囃子が入る大変珍しく華やかな曲目です。

石清水八幡宮の山下にすむ長者が、一芸を持つ男を娘の嫁にしたいと公募し、掲示を見たら娘は志願しようとするが、肝心の、芸が何もない。目を掛けてくれる人に相談に行く、弓の名手と名乗って出かけ、八幡宮近くの放生川で鳩を射るよういわれるが...

和歌を主題にした雅な作品に小笠原弘晃が挑みます。

芸道三十年独立二十年を記念し発足致しました『延年之會』もお蔭をもちまして本年で第六回となります。
今回は夫婦をテーマにした稀曲づくしを上演致します。
弘晃が登入りの晴れがましい祝言曲『八幡の前』、私は人間国宝 野村萬師・万蔵師の胸をお借りして『清水座頭』・『石神』の二番に初めて挑みます。是非ともご高覧賜りたく宜しくお願ひ申し上げます。

能楽師狂言方と泉流 小笠原 匡